プログラム

学会 1 日目　11 月 14 日（土）

第 1 会場（2F　一橋講堂）

9：25〜9：30　開会の辞

9：30〜10：10　特別講演 1

「臨床検査と性感染症〜光と影」
司会：渡會　睦子　東京医療保健大学　医療保健学部/東京医療保健大学　地域健康づくり研究・教育センター/一般社団法人　住民とともに活動する保健師の会
演者：髙橋　　聡　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

10：15〜10：55　特別講演 2

「新興・再興感染症の過去と未来〜若手医師へのメッセージ〜」
司会：川名　　敬　日本大学医学部　産婦人科学系産婦人科学分野
演者：早川　　智　日本大学総合科学研究所

11：00〜11：40　教育講演 3

「皮膚科領域における STI の外科治療」
司会：渡辺　大輔　愛知医科大学　皮膚科学講座
演者：前　賢一郎　東京医科大学　皮膚科学分野

13：20〜14：00　第 13 回定時社員総会 表彰式

14：00〜14：10　新理事会

14：15〜14：55　会長講演

「性感染症と生殖器粘膜と免疫〜未来に向けて」
司会：三鴨　廣繁　朝日大学病院　感染症内科
演者：川名　　敬　日本大学医学部　産婦人科学系産婦人科学分野

15：00〜16：30　シンポジウム 3（日本産科婦人科学会　領域講習）　共催：日本 HTLV1 学会

「性感染による HTLV-1 感染症の現状と課題」

司会：渡邊　俊樹　聖マリアンナ医科大学血液・腫瘍内科
　　川名　　敬　日本大学医学部　産婦人科学系産婦人科学分野

S3-1　性感染症としての HTLV-1：水平感染の実態と予防戦略の再構築
　　相良　康子　日本赤十字社九州ブロック血液センター

S3-2　HTLV-1 の性行為感染対策の必要性：国際的な動向と我が国の現状および課題
　　渡邊　俊樹　聖マリアンナ医科大学血液・腫瘍内科

S3-3　HTLV-1 母子感染と水平感染の現状
　　三浦　清徳　長崎大学医学部産婦人科

第 2 会場（2F　中会議室 3＋4）

9：30〜10：10　教育講演 1

「臨床検査の立場から見た今後の性感染症対策」
司会：古林　敬一　たによんスタートクリニック
演者：安田　　満　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

10：15〜11：45　シンポジウム 1（日本性感染症学会卒後・生涯学習プログラム）

「淋菌・クラミジア」
司会：和田耕一郎　島根大学医学部　泌尿器科学講座
　　伊藤　　晋　あいクリニック

S1-1　淋菌　薬剤耐性と検査
　　安田　　満　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

S1-2　クラミジア 無症候感染
　　野口　靖之　プライベートケアクリニック名古屋栄

S1-3　淋菌・クラミジアの咽頭感染
　　余田　敬子　東京女子医科大学附属足立医療センター　耳鼻咽喉科

S1-4　開業医の立場から：淋菌・クラミジア尿道炎の実臨床における問題点と課題
　　〜過去 2 年間における男性尿道炎症例の検討からわかったこと
　　三浦　徹也　みうら泌尿器科クリニック

12：30〜13：20　ランチョンセミナー 1　　共催：MSD 株式会社

司会：川名　　敬　日本大学　医学部産婦人科学系　産婦人科学分野

LS1-1　男性 HPV 感染症の「見えにくさ」とその影響―なぜ男性への HPV ワクチン接種が必要なのか―
　　重原　一慶　金沢大学大学院医薬保健学総合研究科　泌尿器集学的治療学

LS1-2　HPV ワクチンのエビデンス―Gender-Neutral Vaccination―
　　的野多加志　佐賀大学医学部附属病院　感染制御部

15：00〜15：40　教育講演 4

「若手産婦人科医に共有したい感染症診療のヒント：耳学問・経験則からのステップアップ」
司会：野口　靖之　プライベートケアクリニック名古屋栄
演者：野上　侑哉　慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

15：50〜17：20　シンポジウム 4

「ウイルス感染による性感染症の未来像」

司会：原田　和俊　東京医科大学皮膚科学分野

S4-1　皮膚 HPV 関連疾患の多様性と性感染症との接点
—粘膜型ハイリスク HPV による皮膚腫瘍を中心に—
清水　　晶　金沢医科大学　皮膚科

S4-2　HSV が引き起こす皮膚科疾患と未来像
渡辺　大輔　愛知医科大学

S4-3　Mpox の現状と今後
井戸田一朗　しらかば診療所

17：30〜18：20　イブニングセミナー 1　　共催：ホロジックジャパン株式会社

「本邦における細菌性腟症の診断と治療の現状」

司会：山岸　由佳　高知大学医学部　臨床感染症学講座

演者：小林　　理　日本大学医学部　産婦人科学系産婦人科学分野

第 3 会場（2F　中会議室 1＋2）

10：15〜10：55　教育講演 2

「性感染症に対する予防法の未来」

司会：花岡　　希　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　検査診断技術研究部

演者：大西　　真　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　薬剤耐性研究センター

11：00〜12：30　シンポジウム 2（日本産科婦人科学会　領域講習）

「梅毒はこれからどうなる」

司会：荒川　創一　医療法人社団光靖会　井口腎泌尿器科　亀有

　　髙橋　　聡　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

S2-1　梅毒治療の未解決問題と次世代に繋ぐこと

古林　敬一　たによんスタートクリニック

S2-2　梅毒の疫学　歴史が繰り返されるわけ

早川　　智　日本大学総合科学研究所

S2-3　皮膚疾患としての梅毒

原田　和俊　東京医科大学皮膚科

15：20〜15：55　一般演題 3「性教育・予防」

座長：渡會　睦子　東京医療保健大学　医療保健学部/東京医療保健大学　地域健康づくり研究・教育センター/一般社団法人　住民とともに活動する保健師の会

O3-1　地方大学の感染症専攻医を対象とした大都市部専門施設との性感染症（STI）教育連携プログラムの構築と評価

古本　朗嗣　長崎大学病院総合感染症科・感染症医療人育成センター

O3-2　若者が性感染症で受診しやすい診療所に共通する医療環境と医師の姿勢

野々山未希子　敦賀市立看護大学

O3-3　性感染症診療に従事する医療者のパートナー健診に関する知識、態度そして実践

細井　舞子　岡山大学

O3-4　コンドーム使用に関わる羞恥感情および性的自己主張とコンドーム使用率との関連

尼崎　光洋　愛知大学　地域政策学部

16：20〜17：10　一般演題 5「梅毒 1」

座長：髙橋　　聡　札幌医科大学　医学部　感染制御・臨床検査医学講座

O5-1　梅毒 TP 抗体試薬の相関性評価時に遭遇した判定乖離検体について
田中　綾香　久留米大学病院　臨床検査部

O5-2　プロゾーン現象をきたした早期潜伏梅毒の 1 例
小堀　善友　プライベートケアクリニック東京

O5-3　梅毒トレポネーマおよび単純ヘルペスウイルス遺伝子を同時検出可能なマルチプレックスリアルタイム PCR 検出系の開発
齋藤　憲介　タカラバイオ株式会社

O5-4　国内多施設の成人早期顕症梅毒実臨床検体における *T. pallidum* qPCR 陽性と Ct 値の関連因子
笠松　亜由　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所

O5-5　Target Capture 法を用いた *Treponema pallidum* 全ゲノム解析系の構築と国内分離株の系統解析
大濱　侑季　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所

O5-6　全国献血者における活動性梅毒陽性の関連因子の解析と長期感染動向調査（2015-2025）
吉政　　隆　日本赤十字社　血液事業本部　中央血液研究所

第 4 会場（1F　特別会議室 1〜3）

9：30〜10：20　一般演題 1「HIV 感染症・感染動向」

座長：四柳　　宏　国立健康危機管理研究機構

O1-1　匿名・ネット完結型結果確認システム「iTesting」のクリニック導入に関する検討
野口　靖之　プライベートケアクリニック名古屋栄

O1-2　診断に苦慮した HIV 感染症合併妊娠エリートコントローラー症例
木村　　哲　福島県立医科大学　血液内科学講座

O1-3　HIV 感染者における悪性腫瘍の発生状況と予後
松川　敏大　北海道大学病院血液内科/北海道大学病院 HIV 診療支援センター

O1-4　地方自治体におけるエイズ施策の横断的モニタリングと施策推進の取り組みについての検討
平賀　紀行　野木病院　麻酔科・泌尿器科/九州大学大学院　医学研究院　泌尿器科学分野

O1-5　東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業における「出張ふぉー・てぃー」活動の現状分析と若年層への予防啓発の展望
松田　実久　住民とともに活動する保健師の会

O1-6　マスギャザリングイベント 2025 年大阪・関西万博を含む期間の大阪府における性感染症発生動向
山中　靖貴　地方独立行政法人　大阪健康安全基盤研究所

10：30〜11：20　一般演題 2「女性性器感染症」

座長：三鴨　廣繁　朝日大学病院　感染症内科

O2-1　重症外陰部感染症の診療中に深部静脈血栓症・肺塞栓症を診断した若年女性の 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O2-2　性感染症を強く疑わせた外陰部潰瘍の最終診断が Behcet disease であった一例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O2-3　*Haemophilus influenzae* を起炎菌としたバルトリン腺膿瘍の 1 例
吉田　昭三　大阪暁明館病院　産婦人科

O2-4　人工妊娠中絶術前検査における性感染症スクリーニングの意義
佐々木　浩　野村クリニック

O2-5　腟内乳酸桿菌 *Lactobacillus crispatus* の腟上皮細胞におけるヒト β デフェンシン-2 産生誘導能は付着能と相関する
伊藤　雅洋　北里大学　薬学部　微生物学

O2-6　2024 年に早産率・超早産率は戦後最高水準となった―BV 対策と ART 保険適用の観点から―
島野　敏司　町立中標津病院

15：20〜16：00　一般演題 4「Mycoplasma genitalium 1」

座長：和田耕一郎　島根大学医学部　泌尿器科学講座

O4-1　薬剤耐性 *Mycoplasma genitalium* の増加（第 3 報）
伊藤　　晋　あいクリニック

O4-2　*M. genitalium* 感染症に対するテトラサイクリン系薬とシタフロキサシン併用療法の有用性
伊藤　　晋　あいクリニック

O4-3　全ゲノム解析による国内 Mycoplasma genitalium の分子疫学解析と薬剤耐性クローンの同定
今井　一男　埼玉医科大学　臨床検査医学/KARADA 内科クリニック

O4-4　臨床検体由来 *Mycoplasma genitalium* の Vero 細胞共培養系における培養条件の検討
大町　竜羽　埼玉医科大学　臨床検査医学

O4-5　愛媛県の泌尿器科における Mycoplasma genitalium 感染症の診療実態と課題
杉原　直哉　愛媛大学医学部附属病院　泌尿器科

16：20〜17：10　一般演題 6「尖圭コンジローマ」

座長：重原　一慶　金沢大学大学院医薬保健学総合研究科　泌尿器科

O6-1　患者の訴えを契機に陰核包皮を翻転して診断し得た残存尖圭コンジローマの 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O6-2　治療経過中に乾燥・角化を伴い病変増悪を認めた尖圭コンジローマの 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O6-3　乾燥性・出血性変化を伴う難治性尖圭コンジローマに対し、皮膚環境を整えながら慎重な凍結療法を行い治癒に至った 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O6-4　糖尿病、外陰カンジダ症、CSW およびステロイド外用を背景に広範囲に発症した中年女性尖圭コンジローマの 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O6-5　外尿道口および尿道内に多発した尖圭コンジローマの 1 例
前田　晃宏　佐賀大学医学部　泌尿器科

O6-6　大腿部から陰嚢へ進展した高齢男性の陰嚢尖圭コンジローマの一例
青木　九里　東京品川病院　泌尿器科

プログラム

学会 2 日目　11 月 15 日（日）

第 1 会場（2F　一橋講堂）

9：00〜10：30　特別企画

「性感染症の未来へのメッセージ：理事長経験者として伝えたいこと・・・」

司会：髙橋　　聡　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座
　　四柳　　宏　国立健康危機管理研究機構/東京大学医科学研究所　先端医療研究センター　感染症分野・感染免疫内科

LT-1　性感染症の未来へのメッセージ―理事長経験者として伝えたいこと―
三鴨　廣繁　朝日大学病院　感染症内科

LT-2　「性感染症の未来へのメッセージ：理事長経験者として伝えたいこと・・・」梅毒診療におけるガイドラインの役割
荒川　創一　井口腎泌尿器科亀有

LT-3　性器ヘルペスの病態解明から見えてきたもの
川名　　尚　帝京大学医学部附属溝口病院　産婦人科

10：35〜11：15　特別講演 3

「HPV 関連子宮頸部腫瘍における HPV 特異的 T 細胞応答の意義」

司会：四柳　　宏　国立健康危機管理研究機構/東京大学医科学研究所　先端医療研究センター　感染症分野・感染免疫内科

演者：立川（川名）愛　国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所/熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター/東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当

11：20〜12：00　特別講演 4

「HPV 感染の基礎と病態〜これからの HPV 研究〜」

司会：笹川　寿之　金沢医科大学産科婦人科学

演者：柊元　　巌　国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター

13：20〜14：00　特別講演 5

「The complicated road to effective therapeutic vaccination against chronic viral infectious」

司会：立川（川名）愛　国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

演者：Christian Brander　IrsiCaixa, Barcelona, Spain

14：10〜14：50　教育講演 5

「感染症の極めたい若手への提言、産婦人科医の立場から」
司会：野上　侑哉　慶應義塾大学医学部産婦人科学教室
演者：小林　　理　日本大学医学部附属板橋病院　産婦人科

14：50〜15：00　閉会の辞

15：10〜16：40　第 528 回 ICD 講習会

「全身性疾患につながる性感染症」
司会：川名　　敬　日本大学医学部　産婦人科学系産婦人科学分野

ICD-1　血液系への感染症に対する感染対策
渡邊　俊樹　聖マリアンナ医科大学血液・腫瘍内科

ICD-2　神経系を侵す性感染症の感染管理：神経梅毒・ヘルペスウイルス感染症と補体阻害薬時代のナイセリア感染
中嶋　秀人　日本大学医学部内科学系神経内科学分野

ICD-3　HIV 感染に伴う日和見感染症の感染対策
四柳　　宏　国立健康危機管理研究機構

第 2 会場（2F　中会議室 3＋4）

9：00〜10：30　シンポジウム 5

「M. genitalium を考慮した非淋菌性尿道炎診療」
司会：和田耕一郎　島根大学医学部　泌尿器科学講座
　　伊藤　　晋　あいクリニック

S5-1　M. genitalium の検出法
　　濵砂　良一　室町泌尿器科クリニック

S5-2　M. genitalium を考慮した非淋菌性尿道炎（NGU）治療の現状と実臨床
　　小堀　善友　プライベートケアクリニック東京

S5-3　保険審査の状況について
　　上原　慎也　川崎医科大学総合医療センター　泌尿器科

10：40〜12：10　シンポジウム 6（日本性感染症学会卒後・生涯学習プログラム）　共催：日本公衆衛生学会

「性感染症ハイリスク群への対策」
司会：三鴨　廣繁　朝日大学病院　感染症内科
　　白井　千香　枚方市保健所

S6-1　行動科学で考えるハイリスク者へのアプローチ
　　上田　　豊　和歌山県立医科大学医学部　先進予防・健康医学講座

S6-2　新宿区保健所における HIV・性感染症への取り組み
　　高橋　千香　新宿区保健所

S6-3　高等学校における性感染症の予防と支援―養護教諭としての関わりを通して―
　　柳沼麻里絵　お茶の水女子大学附属高等学校

S6-4　切れ目のない性感染症予防対策をめざして―ポピュレーション・アプローチとハイリスク・アプローチの連携―
　　渡會　睦子　東京医療保健大学　医療保健学部　看護学科/東京医療保健大学　医療保健学部　看護学科　地域健康づくり研究・教育センター/一般社団法人　住民とともに活動する保健師の会

12：25〜13：15　ランチョンセミナー 2　共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

「膣炎と膣内細菌叢：現状の理解と今後の課題」
司会：石金　正裕　国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　国際感染症センター
演者：中野由美子　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　寄生動物部

13：20〜14：10　一般演題 12「性行動・社会調査」

座長：山岸　由佳　高知大学　医学部臨床感染症学講座

O12-1　性感染症に関連する心理社会的因子、性行動の解析
池内　和彦　東京大学医学部附属病院　感染症内科

O12-2　婚外性交渉における心理・社会的関連因子の解析
池内　和彦　東京大学医学部附属病院　感染症内科

O12-3　若年者の金銭授受を伴う性行動の分析（インターネット調査）
北岡　政美　前　国立感染症研究所 FETP/同　応用疫学研究センター

O12-4　JACSIS2025 結果を用いたシスジェンダー女性の性風俗提供経験と関連因子の検討
山下　耕平　東京大学医学部附属病院　感染症内科

O12-5　JACSIS2025 結果を用いた男性の性風俗利用経験と関連因子の検討
山下　耕平　東京大学医学部附属病院　感染症内科

O12-6　メンズヘルス外来患者における性感染症への意識調査
桧山　佳樹　富山大学学術研究部医学系　腎泌尿器科学

第 3 会場（2F　中会議室 1＋2）

9：00〜10：00　認定士への集い

「日本性感染症学会認定士と性感染症予防活動に関わる会員の集い」

日本性感染症学会 認定制度委員会
委員長　　：余田　敬子
副委員長　：野口　靖之
担当理事　：和田耕一郎
認定士委員：齋藤　益子、野々山未希子、渡會　睦子、志牟田　健

司会：渡會　睦子、志牟田　健

1）認定士試験について
　敦賀市立看護大学　助産学専攻科
　野々山未希子

2）認定士としての活動
　株式会社アイ・ラボ CytoSTD 研究所
　椎名　義雄

10：00〜10：50　一般演題 8「HPV 関連病変」

座長：笹川　寿之　金沢医科大学産科婦人科学

O8-1　イミキモド・TCA 療法・LEEP 切除術の 3 方法併用が奏功した多発性・巨大コンジローマの 1 例
　笹川　寿之　金沢医科大学　産科婦人科/ささがわ女性クリニック

O8-2　肛門性器尖圭コンジローマに対する電気焼灼療法の部位別治療成績―診療科横断的検討―
　加藤　佑樹　福井県済生会病院泌尿器科

O8-3　VIN3 を合併した難治性・再発性尖圭コンジローマの 1 例
　内河　朋希　日本大学産婦人科

O8-4　婦人科医からみた肛門上皮内腫瘍の現状と課題
　遠藤　恵美　日本大学附属板橋病院

O8-5　高齢女性に生じた HPV67 型陽性爪部 Bowen 病の 1 例
　栃木　妙井　金沢医科大学　皮膚科

O8-6　尿路における HPV 感染部位の検討
　福川孝太郎　金沢大学大学院医薬保健学総合研究科　泌尿器集学的治療学

11：00〜11：35　一般演題 10「淋菌感染症」

座長：野口　靖之　プライベートケアクリニック名古屋栄

O10-1　2025 年にわが国で分離された淋菌の薬剤感受性報告
安田　　満　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

O10-2　2025 年に淋菌感染症患者から分離された淋菌の薬剤感受性について
安田　　満　札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座/札幌医科大学附属病院検査部

O10-3　沖縄県で分離された淋菌の薬剤感受性推移―沖縄で初めての CTRX 耐性株の報告―
中尾　浩史　琉球大学　医学部保健学科

O10-4　組換え解析により示された *N. gonorrhoeae* mosaic penA-60.001 allele の起源と *N. subflava* の関与
金坂伊須萌　東邦大学　看護学部

12：25〜13：15　ランチョンセミナー 3　　共催：極東製薬工業株式会社

「梅毒のトリビア 3」
司会：髙橋　　聡　札幌医科大学　医学部感染制御・臨床検査医学講座
演者：古林　敬一　たによんスタートクリニック

13：20〜14：10　一般演題 13「ウイルス性性感染症」

座長：花岡　　希　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　検査診断技術研究部

O13-1　帯状疱疹との鑑別を要した Zosteriform Herpes Simplex の 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O13-2　zosteriform herpes simplex との鑑別を要した片側性性器帯状疱疹の 1 例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O13-3　初発 HSV-2 性器ヘルペスの新しい血清学的分類
土屋　裕子　帝京大学医学部附属溝口病院　産婦人科

O13-4　性器ヘルペスに合併した *Pasteurella bettyae* および嫌気性菌による性器軟部組織感染の一例
菊地　真歩　東京慈恵会医科大学　感染症内科

O13-5　東京都における最近のエムポックスウイルス検出状況について
岡田　若葉　東京都健康安全研究センター

O13-6　男性尿道炎患者尿から同定されたヒトアデノウイルス D 種 17 型系統の解析
花岡　　希　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所

第 4 会場（1F　特別会議室 1～3）

9：00～9：50　一般演題 7「梅毒 2」

座長：白井　千香　枚方市保健所

O7-1　児童思春期精神科は若年梅毒診療の接点となりうる
―医療保護入院を契機に診断・治療を完遂した第一期梅毒の 1 例―
張　　成浩　稲城台病院　児童精神科

O7-2　繰り返す梅毒再感染の経過中に肛門周囲潰瘍を呈した一次梅毒の一例
剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O7-3　扁平コンジローマから梅毒と診断し、緊急帝王切開となった未受診妊婦の一例
田中　和東　泉大津市立周産期小児医療センター

O7-4　妊婦の梅毒罹患の背景に関する症例シリーズ報告（続報）
伊東　花江　前　国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース（FETP）

O7-5　当院における梅毒合併妊娠の実態と患者背景の関連因子に関する検討
瑞木　優美　日本大学医学部附属板橋病院　産婦人科

O7-6　早期梅毒に対するミノサイクリン 2 週間投与とベンザチンペニシリン G 単回投与の単施設後方視的コホート研究
稲田　　誠　プライベートケアクリニック東京/東京科学大学病院　感染制御部/東京大学医学部附属病院　感染症内科

10：00～10：40　一般演題 9「クラミジア感染症」

座長：中川　　徹　帝京大学医学部　泌尿器科学講座

O9-1　クラミジア陽性の肝周囲炎にて治療後クラミジア陰性化が遅延した 1 例
前濱　俊之　友愛医療センター　産婦人科

O9-2　びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と鑑別に苦慮したクラミジア頸管炎の一例
加藤雄一郎　静岡赤十字病院　産婦人科

O9-3　女性性器クラミジア・淋菌感染症に対する自己採取検体の臨床的有用性について
福田　雪子　日本大学医学部附属板橋病院　産婦人科

O9-4　小児科医対象の小児クラミジア・淋菌感染症の実地診療の実態調査
山岸　由佳　高知大学　医学部臨床感染症学講座

O9-5　妊婦健診クラミジア陰性例における新生児クラミジア結膜炎症例の解析
花岡　　希　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所

11：00〜11：35　一般演題 11「Mycoplasma genitalium 2」

座長：濵砂　良一　室町泌尿器科クリニック

O11-1　ミノサイクリンとシタフロキサシン同時併用療法が奏効した *Mycoplasma genitalium* 感染症の一例

堀川　正悦　大阪公立大学大学院医学研究科　臨床感染制御学/大阪公立大学医学部附属病院　感染症内科/大阪公立大学医学部附属病院　感染制御部

O11-2　当院における Mycoplasma genitalium 感染症に対するミノサイクリン・高用量シタフロキサシン sequential therapy の治療成績

平山　　尚　医療法人奏仁会　大阪梅田紳士クリニック

O11-3　約 1 年間治癒し得なかった高度肥満患者の難治性 Mycoplasma genitalium 尿道炎に対して抗菌薬増量投与が奏効した 1 例

剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック

O11-4　難治性 Mycoplasma genitalium 尿道炎に対し、未使用抗菌薬の導入が奏功した 1 例

剣木　憲文　銀座ヒカリクリニック